強行される合理化

第二組合にも差別がきた

宮浦甲方の仲間と座談

差別、合理化が渦巻く職場の中でおこつているもろもろの出来事〃職場の一日〃とでもいうべきテーマで、今回は宮浦支部甲方の仲間たちから話をしてもらいました。【出席者藤田（運搬）、秋吉（掘進）、松田（機械）、村上（採炭）のみなさんたち】

写真は左から藤田、秋吉、松田、村上さん

われらは技術者だ

司会　職場での毎日の闘いご苦労さんです。きょうは〃職場の一日〃ということで雑談的にお話し願いたいと思います。

まず差別からゆきましようか。

松田　私は機械ですが運搬がひどいですね。

藤田　そうですね。本来の作業につけないいわゆる「はねだし」は固定していますね。一番はねだしで長いのが六カ月、ほとんど苦勵家ですよ。

実いうと私も昨日から六カ月ぶりに本来の作業についています。第二組合員が過労と流感のためたおれたので、やっとつけたわけです。流感のおかげですね。

（一同爆笑）参考までに賃金は二十二万出で手取り一万八千五百円ほどです。

村上　私は採炭ですが、繰込上の差別はわが方だけですね。宮浦では特進といつていますが、私の部内では月に四十名がやられています。多いときは百三十名もやられました。これではいけないとみんなで話し合つた結果カンパすることとなり、平均賃金を千円とみて六パーセントの差を補償することにしましただから支払い賃金の面ではあまり差はありません。

差別は常一番が一番ひどいですよ。三交替関係では乙方ですね。

村上　私はこう割切つていますよ。三池労組員は技術者だからこそ悪い現場にやるのだとね。バンぶくれや悪い天井の所はどうしてもわれわれでないとやれませんね。職制もこれを認めているのですよ。

松田　機械の場合もそういうことはありますね。原動機すえつけなどの仕事はこちらばかりです。冗談に職制に「第二にもやらせればよかつに」というと、職制は「あやつどまやりきらん」と逃げるのです。

村上　技術者だと思えば腹もたたんよ。（笑声）

この前退職した保安係と話したら「三池労組の人が現場では真面目ですよ」といつていました。

藤田　田川から数名職員がきていますが「三池の人はよく働く」と感心していますね。はね出しにあつても何もいわないで働くから、彼らも強制的なことは何もいわないですよ。

保安無視はある

司会　就労いらいすでに二十名の仲間が生産の犠牲となつて、坑内で散つていますが、生産強行と保安無視、この辺はどうですか。

藤田　不発マイトがあつても石炭を積ませますよ。私ははね出しで二番方のとき行つたが、二日つづいて不発マイトがありましたが、ショベルにでも当れば事故は当然考えられます。

村上　保安規程が変つているためか、不発マイトがまとまつて余計出る日がありますね。

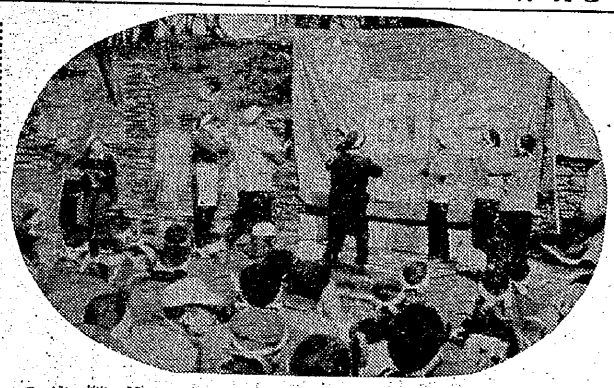
採炭では保安にはとてもみんなが疲感になつていますよ。

藤田　私のところでは来年停年になる組合員をはね出して、切羽にたつた一人やつて石炭を積ませたことがあります。これは完全に保安無視ですよ。もし落盤でもあつたらだれも連絡する人いません。

宮浦運搬はトップ交替のとき焦点になつていましたが、会社はすればスピードアップして危険運転をしなければならなくなり保安を守つたところ「お前がその気なら考えがある」とその人は翌日から電車をおろされた例もあります。

ここから反撃に

港務支部で総決起大会



港務支部では二月十八日午前十時から延命公園横亜広場に、組合員　主婦約三百名が集まつて決起大会をひらいた。

港務支部では会社の激しい組織切りくずしによつて、元執行委員を含む二十三名が集団脱落したと誇大に宣伝され、会社は組合員、家族に動揺を起こさせそれに乗じてさらに切りくずしをはかろうとしていたのであるが、この脱落も実際は十五名にとどまり（内集団は七名）組合員は動揺どころか、卑劣な切りくずしにいよいよ闘志を燃やし、ますます団結を誓つていたものであつた。

大会は炭掘る仲間の全員合唱で幕をあけ、港田支部長は「われわれは切りくずしに耐えるということではなく、敵の中に正しい労働者の姿勢をもつてクサビを打ち込んでいく決意であり、この三百数十名の組合員が三池労組の反撃の拠点となることをここにみなさんと誓おう」と力強くあいさつした。

このあと主婦会古賀支部長があいさつ、つづいて灰原書記長も出席してあいさつに立ち、こんどの展望について述べ、さらに組合員の奮起をうながし、いよいよ反撃に立ち上ることを述べた。

また大会には主婦会から本部役員各支部長も出席して自己紹介を行ない激励を行なつた。

加藤組織部長の経過報告のあと、とくに主婦会からの慰問激励としてたばこの慰問や、団結踊りなどが披露され、和気あいあいの中で団結がいつそう固められていつた大会はこのあと「大会宣言」を発表して、明日からの不屈な闘いを誓つて正午すぎ散会した。

四山の団結駅伝

ホーベルろ方が優勝

四山支部大団結駅伝競走が二月十八日、二十一チームが参加して盛大にひらかれた。コースは四山支部ー荒尾市役所ー職業訓練所ーうぐいす町広場ー山吹マーケットー宮内四ツ角ー山の神鳥居ー支部裏広場の七区間、一九・六キロにわたつて熱戦がくりひろげられた。成績つぎのとおり

一位　五六〇米ホーベルろ方
二位　開発常一
三位　五郎常一

全試合を通じていえることは若手の進出であつた。そして現役を引いたとはいえ兼行選手の力走ぶりにはみんながあらためて感心していた。

また、大会後ホーベルチームでは家族もまじえた慰労会をやり、団結駅伝にふさわしい行事として注目された。

なお、努力賞として保安・内輪坑外、内運の三チームが表彰された。

企業組合めぐり (2)

利用者は約半数

二年目迎えた三興燃料

企業組合として〃三興燃料〃が発足したのは昨年の八月、計画当初から数えれば、ちょうど満一才を迎えたことになる。

営業所は青葉町、三井亭用線の勝立踏切りから線路に沿つて南へ約百米のところに、小ぎれいなプロツク建築が目につくが、ここが三興燃料である。

現在伊牟田さん（宮浦出身）をはじめ九名の仲間と、二名の事務員（組合員家族）が、それこそ油にまみれでがんばつている。

ご存知のように、三興燃料で取扱つているのは石油、プロパン、食油、ガソリン、それにコンロ関係の部品人替え修理などもサービスとしてやつている。ことしの冬からは木炭も取扱う計画である。

收支はトントン

営業状態をみるとプロパンの得意が約一、一〇〇軒、うち三池労組関係がその八割。同じく石油が一五〇〇軒、これも三池労組関係は約八割である。

三池労組五、〇〇〇名としまだ半数しか利用していないという数が出てくる。〃もう少し利用してくれたら……〃というのが、ここの仲間たちのいつわりのない気持ちのようである。

理事長の伊牟田さんにいわせると「営業はトントンで人件費その他でまあ赤字が出ないという状態ですね」ということである。

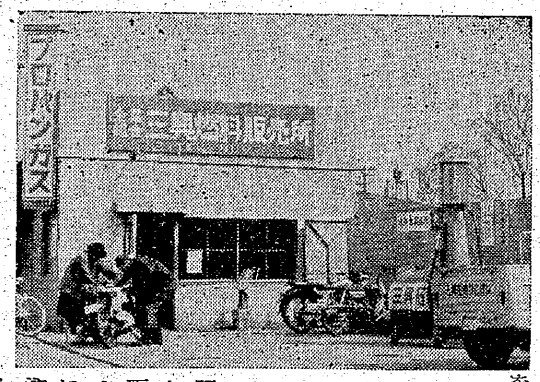
もつとも、いま二、六〇〇軒ほどの利用で協力をしてもらつているが、一番大きな悩みは、払込みが長期にわたるため、どうしても月一五〇万円ほどが貸付けになるということである。

回転資金に悩み

差別と低賃金で闘つている組合員にそう無理はいえないが、企業と名のつく以上は資金の問題もありつとめて払込みをしてもらえたらということが切実な問題となつている。資金さえもつと回転すれば一般市価よりは少しでも安くしたいというのが、仲間たちの気持ちのようだが、現状ではそうすれば企業に負担をかけるばかりであるという。

こういうことで二年度の計画としては、出来るだけ払込みをはやめにしてもらうと同時に、価格もサービス的に安くしようということを念願として計画がたてられている。

苦しい生活に追いつめられ激しいたたかいをつづけているわれわれだが、企業の仲間たちが健全経営を目指して、なれぬ身に商売にがんばつているとき、辛い中だがあの三池闘争をともに闘つた仲間へ連帯の支援をおくつてやろうではないか。



もつと利用しよう

販売システムとしては各地域（集団社宅）に取次所を設けており、さらに各分会や班ごとに連絡所を指定して、注文ともに配達機構も完備させて、組合員に少しでも迷惑のかからないように配達するようなことになつており、少しの不便も感じられないほど充実させている。

営業所の近くは合成の社宅もひかえ、ここの仲間たちも非常な協力をしめし、とくに合成労組では販売、集金まで強力に支援してくれている。

伊牟田さんは「やはり組合員を主体にまとめています。価格も業者間協定がありべらぼうには安くできない状態です。ですからもぐりの業者のヤミ値には太刀打ちできないが、何といつても企業体ですからその辺は十分に組合員のみなさんの理解と協力が必要です」と述べていた。

とに角、まだ利用者は全組合員の半数であり、もつともつと利用者の増えることが待たれている。

ちなみに価格は石油（一斗）四〇〇円、プロパン九〇〇円、食油二五五円。ガソリンはチケット制にしている。

【写真】企業二年目を迎え健全経営目ざす三興燃料

労働強化の疲れが出炭に現われる

司会　合理化が強行されるにしたがつて第二組合員の間でも、いろいろ不満の声を耳にすると思いますが、その点はどんな風ですか。

藤田　確かに不満はもつていますが、それをどこにも持つていけないようですね。ある第二組合員がうちの組合員に「自分のことは自分で考えんならできんばん。私はおとなしかからいうきらんからバカらしか」ともらしていました。

秋吉　第二の連中と一緒に仕事をしていないので、ときたま修繕の人から話を聞きますが、乙方丙方は休憩など一つもやつていないといいます。わが方ではピタリと休憩しますけどね。

村上　私もきょう久しぶりにCO当番につきました。正月からはじめてです。それも今月は一万五千トンにならんというわけで職制が残業を強いるので連日のことであり疲れとかぜで欠員ができたからですよ。

藤田　流感もあろうが、労働強化のため極端に出炭面にあらわれていますよ。運搬千八百幽きていたのが、昨日は八百七十函、きょうは七百五十二函、方別ストの影響でしようが五百函もちがら、これは疲れているからですよ。「第二の特休賃上げがへつた」と人事でもいつていましたよ。

また、最近第二に脱落したものはほとんど歩増が変つていないそうですね。前から行つていたものがよい歩増をとつていますよ。

松田　合理化が第二組合員にはストレートでくるわけですね。会社としてはそういう人間を多くするため第二組合をふやしているのですね。

第二組合の中にこちらから一名配役されていたそうですが、保安係は口やかましくいつて使つているそうですよ。

就職対策便り

大地評病院開設で新規採用

大地評病院は五月一日のメーデーを期して堂々たる病院の建築にいまかかつているが、新病院開設にともない、つぎの職種の募集を行なうことになつた。

○医師…一―二名
○薬剤士並に助手…二名（女）
○事務手…一―二名（男、珠算簿記のできるもの）
○炊事婦…二名（女、うち一名は調理士の免許を有すること）
○現業…一名（男、四十―五十才までの人）
○看護婦…三―四名（今春看護婦学校卒業者または三十五才までの人で経験者）

なお、希望者は三月十五日までに履歴書、写真を本部職対部へ提出のこと。

看護婦については四月十五日ごろから勤務する予定で、他はメーデー開院と同時に採用。

条件その他の細部については面談の上お聞き下さい。